

アルファテック445

アルファテック445は、新旧コンクリート打ち継ぎ用のエポキシ接着剤です。フレッシュコンクリートに対して、高い接着性能を発揮します。さらに、鉛直面の塗布でも、ダレが生じません。そのため、横向き
のセメントモルタルや、コンクリートの打ち継ぎ面の接着に最適です。

特長

- 打ち継ぎ強度は、コンクリートの破壊強度を超える接着性能を発揮します。
- 各種フレッシュコンクリートの性能に合わせた接着性能を発揮します。
- 鉛直面の塗布にダレがなく、必要な塗膜が得られます。
- 打ち継ぎの有効時間が長いので、施工性に優れています。

用途

- フレッシュコンクリート、セメントモルタル、無収縮セメントなどの打ち継ぎ接着

テクニカルデータ

未硬化物の性状 (20°C)		
	アルファテック445	
	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観色	淡灰色	黒色
外観 (混合)	灰色	
混合比 (重量)	2	1
粘度	ダレ認めず (垂直ダレ試験)	
比重	1.35±0.1	
可使時間	30分	

硬化物の性状			
試験項目	試験方法	養生条件	物性値
圧縮強さ (N/mm ²)	JIS K 7208	20°C × 7日	50
圧縮弾性率 (N/mm ²)	JIS K 7208	20°C × 7日	1500
曲げ強さ (N/mm ²)	JIS K 7203	20°C × 7日	40
引張強さ (N/mm ²)	JIS K 7113	20°C × 7日	25
圧縮せん断接着強さ (N/mm ²) (セメントモルタル相互)	JIS K 6852	20°C × 7日 (乾燥)	8 MF
		20°C × 7日 (湿潤)	7 MF
引張せん断接着強さ (N/mm ²) (鋼材相互)	JIS K 6850	20°C × 7日	15 COF
付着強さ (N/mm ²)	JHS 412	20°C × 7日	2 CF
硬 度 (ショアーD)	JIS K 7215	20°C × 7日	80

※MF:セメントモルタル破壊 COF:接着剤破壊 CF:コンクリート破壊

※上記結果は、当社の試験、研究で得られた試験値です。

使用方法

- ①下地処理:コンクリートの脆弱部や付着物を除去し、鋼材の錆や塗料・付着物を除去して下さい。
◇コンクリートにひび割れや浮き骨材がある場合はアルファテック380浸透性エポキシプライマーを塗布して下さい。
使用方法は、アルファテック380のカタログを参照して下さい。
- ②樹脂混合:主剤(淡灰色)と硬化剤(黒色)を重量比2:1で必要量取り出し、均一になるまで練り混ぜて下さい。
◇樹脂の混合は温度が高いと短く、低いと長くなります。
- ③接着剤塗付:コテやヘラを用い、塗りムラがないよう0.7kg/m²を目安に塗り付けて下さい。
- ④コンクリート打設:アルファテック445塗り付け後、30分～3時間程度のタック(ベタ付き)のある間にコンクリートを打設して下さい。
◇コンクリートの打継可能時間は、温度が高いと短く、低いと長くなります。
◇可使用時間を経過しタックが無い場合は、再度アルファテック445を初回の50%程度塗布して下さい。

容器形態

【10kg / 7.4L セット】

主 剤 6.7kg (角缶)

硬化剤 3.3kg (角缶)

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいませようお願い致します。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行なって下さい。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹼水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読み下さい。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
URL: <https://www.alpha-kogyo.com> / E-mail: alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
神戸事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
6-3-3 ASHIHARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN